

# 北九州リハビリ報告

vol. 31

北九州市議会議員 中村 よしお

2017.10.15

## いろいろな施設があります！

経済港湾委員会は産業経済局と港湾空港局を所管しています。この2つの局の主な施設をご紹介します。

### 産業経済局



ワークプラザ小倉



イノベーションギャラリー



高齢者就業支援センター



シニア・ハローワーク戸畑



渡船戸畑事務所



テレワークセンター



【学研】産学連携センター1号館



小倉城



皿倉山ケーブルカー



関門海峡ミュージアム



旧大阪商船



九州鉄道記念館



門司港レトロ観光物産館 港ハウス



海釣り桟橋



総合農事センター 本館



北九州メディアドーム



若松競艇場



中央卸売市場

### 港湾空港局



太刀浦コンテナターミナル



田野浦 RORO 荷役



小倉 RORO ターミナル



浅野フェリーターミナル



ひびきコンテナターミナル



北九州貨物ターミナル



北九州空港



グリーンエネルギーポートひびき

## ～本会議質問内容～



### ■障害がある方の差別解消

昨年障害がある方の差別を解消する法律は施行され、本市では今年障害者差別解消条例を作る準備をしています。その中で障害者団体の方が強く求めている中に民間事業所の「合理的配慮」の義務化があります。今回の質問では合理的配慮を進めるうえで市からの補助ができないかを議論しました。私の論点は①「障害がある方の差別行為＝人権侵害」、②「以前は障害がある方の生活上での様々な困難は障害がある方自身の問題ととらえられていたが、現在では障害がある方自身の問題ではなく、困難を与えている社会の問題ととらえられている。医学モデルから社会モデルへ」③「努力義務をできるだけ進めるうえで行政の補助は有効」という3点を確認し、執行部からは同様の考えであることが示されました。人権侵害は絶対許されないことです。その観点からも民間事業者の合理的配慮が進むよう市の補助をつけるよう要望しました。

### ご存知ですか？ 障害者差別解消法と合理的配慮

障害者差別解消法では公的機関や民間の事業所が障害がある人に対して正当な理由なく障害を理由として差別することを禁止しています。この法律では役所や事業者に対して障害のある人から社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。(合理的配慮)  
合理的配慮は公的機関には法的義務、民間の事業所には努力義務が課せられています。

### ■高齢者就労

30年前に比べ高齢者の数は約3倍になり現在約30%の高齢化率は今後も上昇します。政令指定都市一高齢化率の高い本市だからこそ今後日本全体で迎える超高齢化を乗り越えることを考えていく必要があります。シルバー人材センターの会員を対象とした研究では働いている人の方が健康というデータも出ています。経済的な理由だけでなく健康面や生きがい、今後ますます不足する労働人口対策としても高齢者の就労促進を支援する必要性を訴えました。

9月議会も  
一般質問に立ちました！

中村よしお事務所

〒802-0043 北九州市小倉北区足原2丁目1-39  
TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277  
E-mail nakamura-y3226@nifty.com URL http://www.nakamura-yoshio.jp/

## ～経済港湾委員会報告～

今任期では6つの常任委員会のひとつ「経済港湾委員会」の委員長をさせていただきます。委員会では市政のチェックだけでなく北九州市を発展させるための調査研究を行う所管事務調査を実施しています。今回の経済港湾委員会では「観光や MICE による来訪者の消費喚起について（観光客を多く招き、いかに消費し地元にお金を落とすか）」をテーマに調査研究をしています。これまでの調査研究について報告いたします。



## 北九州市の観光客の動向について

### ◎観光地点の観光客数（平成28年次北九州市観光動態調査結果より）

（単位：万人）

	H26	H27	H28	対前年比
宿泊	155.8	170.0	177.5	+4.4%
日帰り	958.0	1,000.3	1,016.3	+1.6%
合計	1,113.8	1,170.3	1,193.8	+2.0%

★最近では毎年観光客が増加しています。

### ◎観光消費額（平成28年次北九州市観光動態調査結果より）

（単位：億円）

	H26	H27	H28	対前年比
観光消費額	1005.3	1067.8	1418.7	+32.9%

※本市における一人当たりの観光消費単価  
 宿泊観光：23,104円／日帰り観光：5,336円

★観光消費額も増加しています。  
 宿泊者を増やすことがとても大切です。

### ◎外国人観光客数の推移（平成28年次北九州市観光動態調査結果より）

（単位：万人）

	H24	H25	H26	H27	H28	対前年比
外国人観光客数	11.4	13.2	16.7	25.2	34.9	+38.5%

★ここ2年間は大幅に増加しています。

### ◎地区別観光客数（延べ人数）

（平成28年次北九州市観光動態調査結果より）

（単位：万人）

地区名	観光客数
門司港地区	247.6
門司港レトロ地区	218.2
和布刈地区	29.4
小倉都心地区	582.1
八幡東田地区	221.1
皿倉山周辺地区	42.5
平尾台地区	47.3
到津の森公園周辺地区	62.5
若松北海岸地区	79.5
若松南海岸地区	7.9
その他	344.5
合計	1635.0

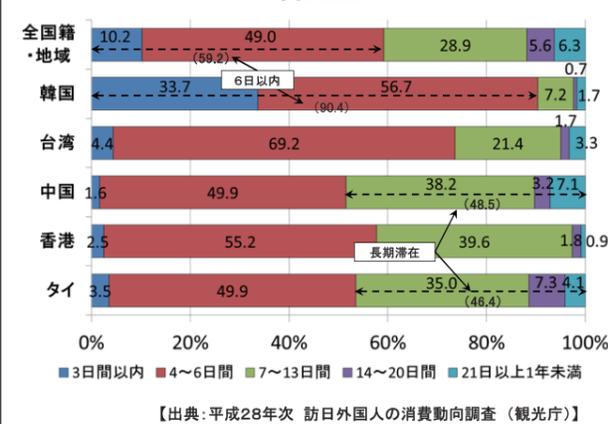
★主な観光地区は門司港レトロ、小倉都心、八幡東田地区です。

## 外国人観光客の動向について

### 各国の特徴

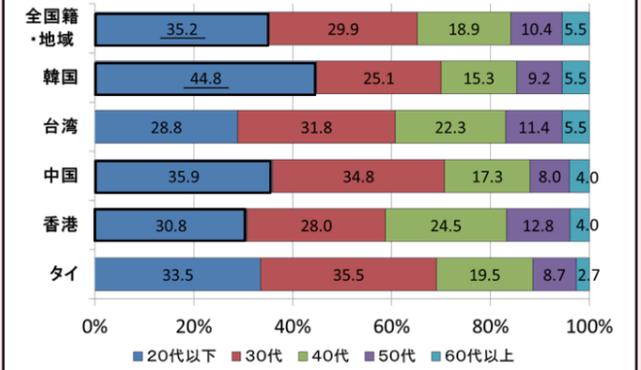
- 韓国**  
⇒グルメ、温泉好き、個人旅行中心、短い日程（2泊3日）
- 台湾**  
⇒滞在期間は4～6日間が圧倒的、日本の流行に敏感
- 中国**  
⇒団体中心、免税店でのショッピング
- 香港**  
⇒ほとんどが個人旅行、リピーターが多い、レンタカー利用
- タイ**  
⇒四季を感じるものが好き、ロケ地めぐり

### 滞在日数



4～6日間が約5割です。

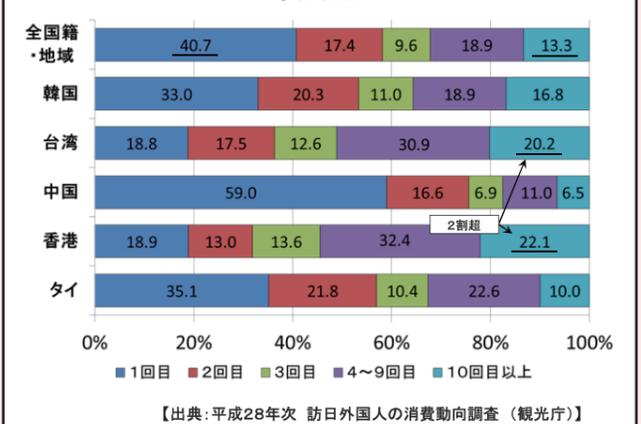
### 年代別



【出典：平成28年次 訪日外国人の消費動向調査（観光庁）】

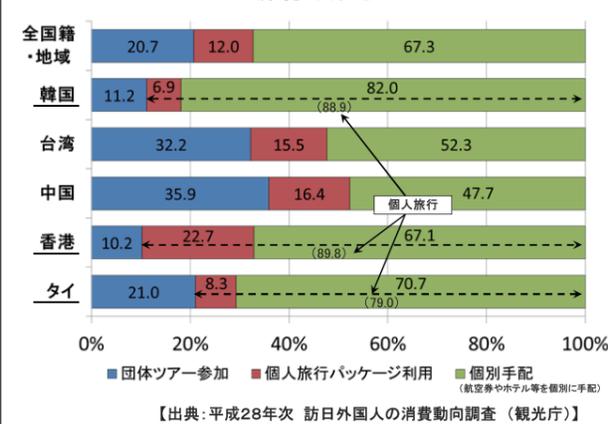
20代と30代で6割以上を占めています。

### 来訪回数



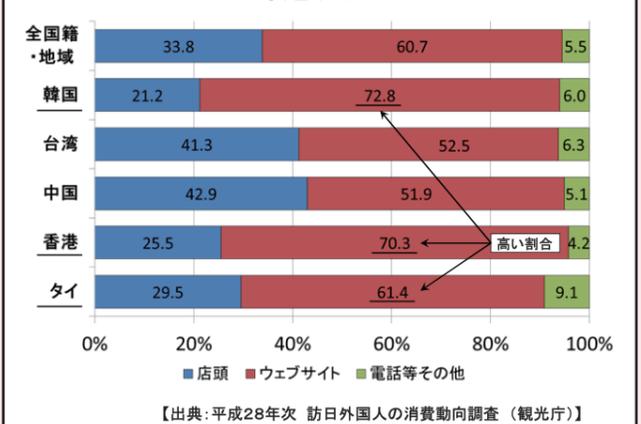
台湾と香港はリピーター率が高いようです。

### 旅行の形態



中国や台湾は団体ツアーが主流、韓国、香港、タイは個人旅行が多いようです。特に韓国は8割以上が個人旅行です。

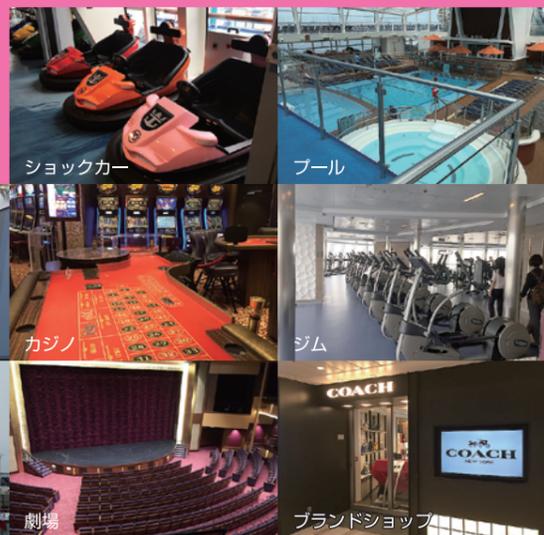
### 申込の方法



個人旅行が主流の韓国、香港、タイはインターネットによる申し込みが多くなっています。

## 船入調査

若松のひびきコンテナターミナルには16万トン級のクルーズ船が入港しています。この船には乗客約4,000人、乗員1,500人が乗っています。今回「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」というクルーズ船に乗り込み調査してきました。



現在北九州空港よりソウル便やプサン便のある韓国は個人旅行が主流で消費単価も高くまた若い世代が多いことのあり、申し込みや情報収集媒体はインターネットが主流です。いかにインターネットを通してPRするかまた旅行時のインターネットの環境があるかが大切になってきます。中国はクルーズ船等の団体客が中心で一度にたくさんの方がこられますが、旅行会社へのバックマージンがある免税店への誘導もあり、北九州市での一人当たりの消費額は5,000円／日と低くなっています。いかに消費喚起をするかが課題です。